

令和2年2月8日

令和元年度「大学生等による地域創生推進事業」活動報告会



水舟集落の地域活性化

-都市部の視点から集落の魅力、改善点を再発見-

みんな輝く地域の未来
水舟区 地域づくり交流会 活性化



宇都宮大学 里計画研究会

(「大学生等による地域づくり支援事業」による交流継続)

1 水舟集落の基本情報

○所在地

- ・福島県二本松市 水舟集落

○主な産業

- ・農業
(稲、エゴマ、ツルムラサキ、大豆、えんどう等)

○地理

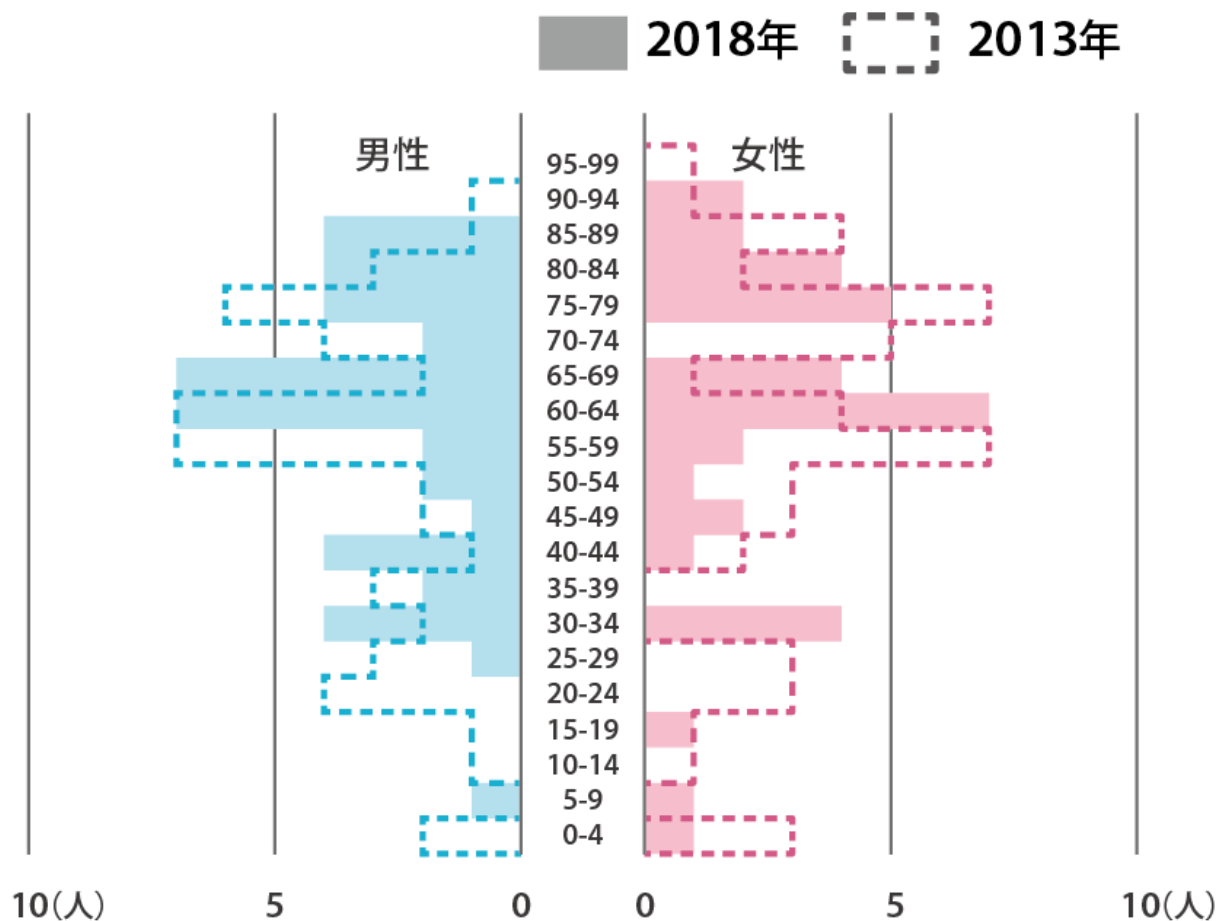
- ・福島市内への
通勤・通学が可能



1 水舟集落の基本情報

○2013年→2018年の人口推移（アンケート調査による）

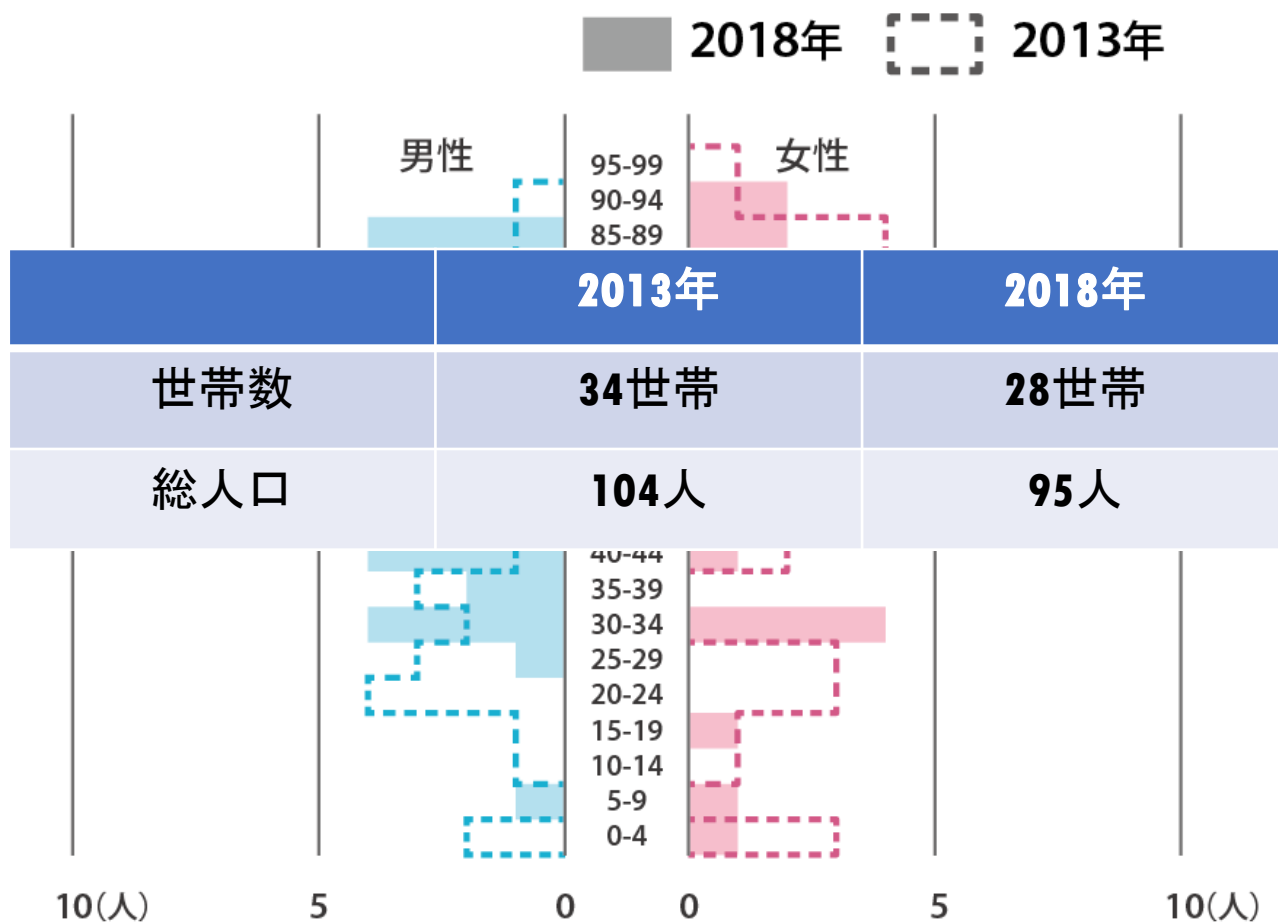
・55歳以上が62.1%を占める→準限界集落



1 水舟集落の基本情報

○2013年→2018年の人口推移（アンケート調査による）

・55歳以上が62.1%を占める→準限界集落



2 宇都宮大学 里計画研究会について

○研究会の発足

- ・「大学生の力を活用した集落復興支援事業」（H25～H26）の補助を受け、2013年から水舟集落さんとの交流開始とともに発足

活動の目的：集落活性化策の提案や、都市農村交流の促進

○研究会のメンバー

- ・構成員は「宇都宮大学 建築計画研究室」に所属する学生・教員・職員
- ・研究の分野：都市計画、農村計画、建築計画



2 宇都宮大学 里計画研究会について

○水舟区での6年間の活動

- ・ 農家民泊の実施



- ・ 交流の場（グランドゴルフ）



- ・ ワークショップ
（歴史、住まい方、文化の継承）



- ・ 集落広報パンフレットの作成



3 今年度の目標

○目標

- ・新たな視点から集落の魅力、改善点を再発見
→本研究会以外の農家民宿経験のない**首都圏出身または、在住の学生**も招き、
民宿体験とその評価をしてもらう。今後の交流事業促進に向けた知見を得る。

○参加者

・【秋】

里計画研究会 4名 + **都内出身の宇都宮大学学生 1名、東京電機大学 学生5名**

・【冬】

里計画研究会 4名 + **都内出身の宇都宮大学学生 2名、東京電機大学 学生5名**



述べ13名

4 活動内容

○【秋】（2019/10/19~10/20）

- ・民泊
- ・各ご家庭での体験
（うどん打ち、野菜の植え、豆腐作り）
- ・グランドゴルフ
- ・ワークショップ

○【冬】（2019/11/30~12/1）

- ・民泊
- ・幡祭りの準備
- ・幡祭りへの参加
- ・餅つき
- ・ワークショップ

都市部の視点から
活動全体を評価、
評価シートの記入



今後の交流事業促進に向けた知見を抽出

5 評価シート の概要

○5段階評価

(5 : 満足 4 : やや満足 3 : 普通 2 : やや不満 1 : 不満)

- ・ 食事
- ・ 宿泊
- ・ 体験

○自由記述

(活動全体を通しての感じたことを記述)

- ・ 水舟集落らしい、水舟集落ならではの感じたこと
- ・ 今回、初めてだったこと
- ・ 魅力、特に感動したこと
- ・ 課題や改善点

5.1 活動とその評価（食事）

○食事【秋・冬】

- ・ 1日目昼食（なみえ焼そば）



- ・ 1日目夕食（各ご家庭）



- ・ 2日目朝食（各ご家庭）

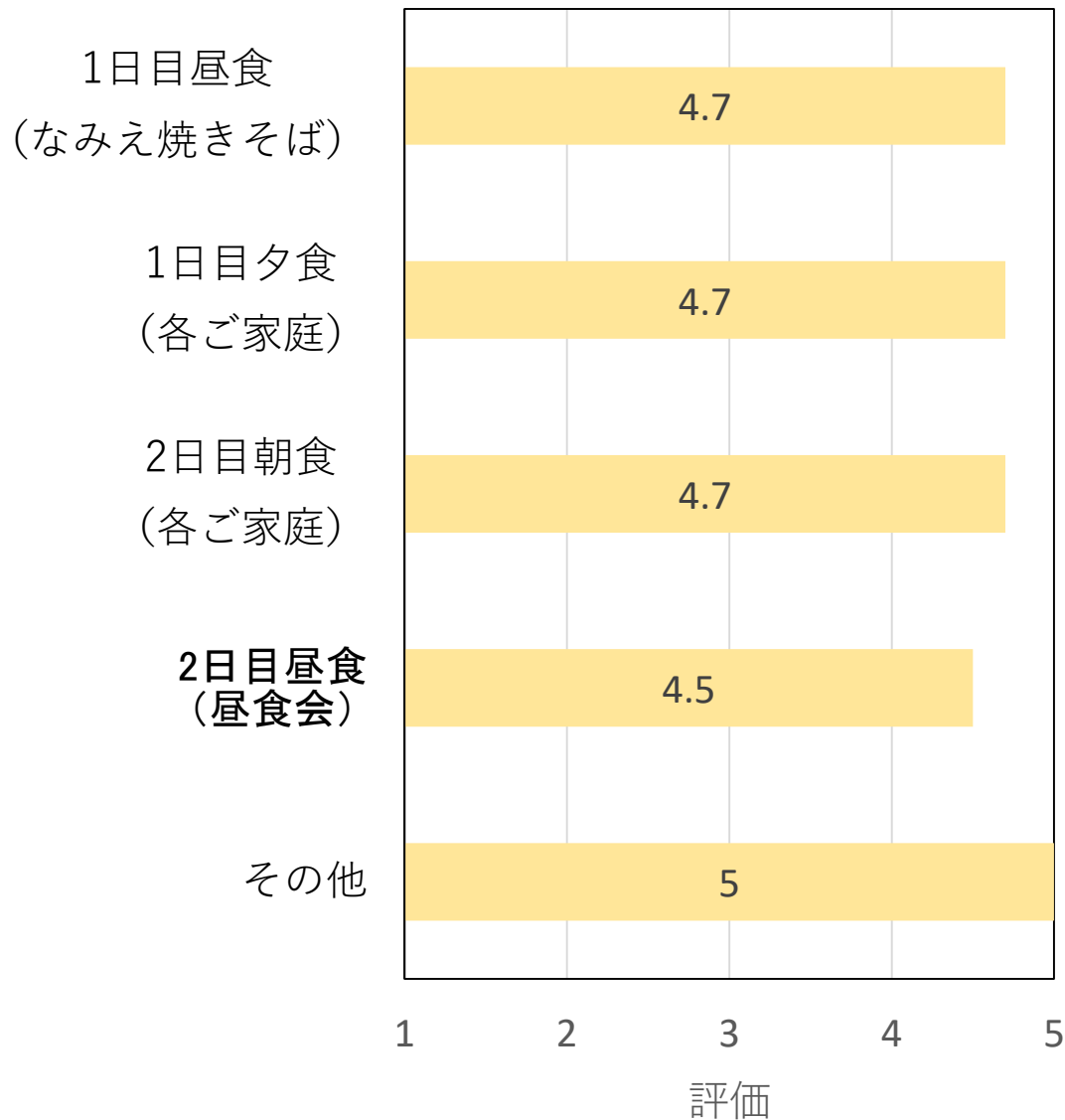


- ・ 2日目昼食（昼食会）



5.1 活動とその評価（食事）

○食事の評価【秋】



○特徴 1

- ・ 全体的に満足度が高い

○理由 1

- ・ 各ご家庭で採れた野菜や、福島県の郷土料理など
そこならではの料理を食べれた

○特徴 2

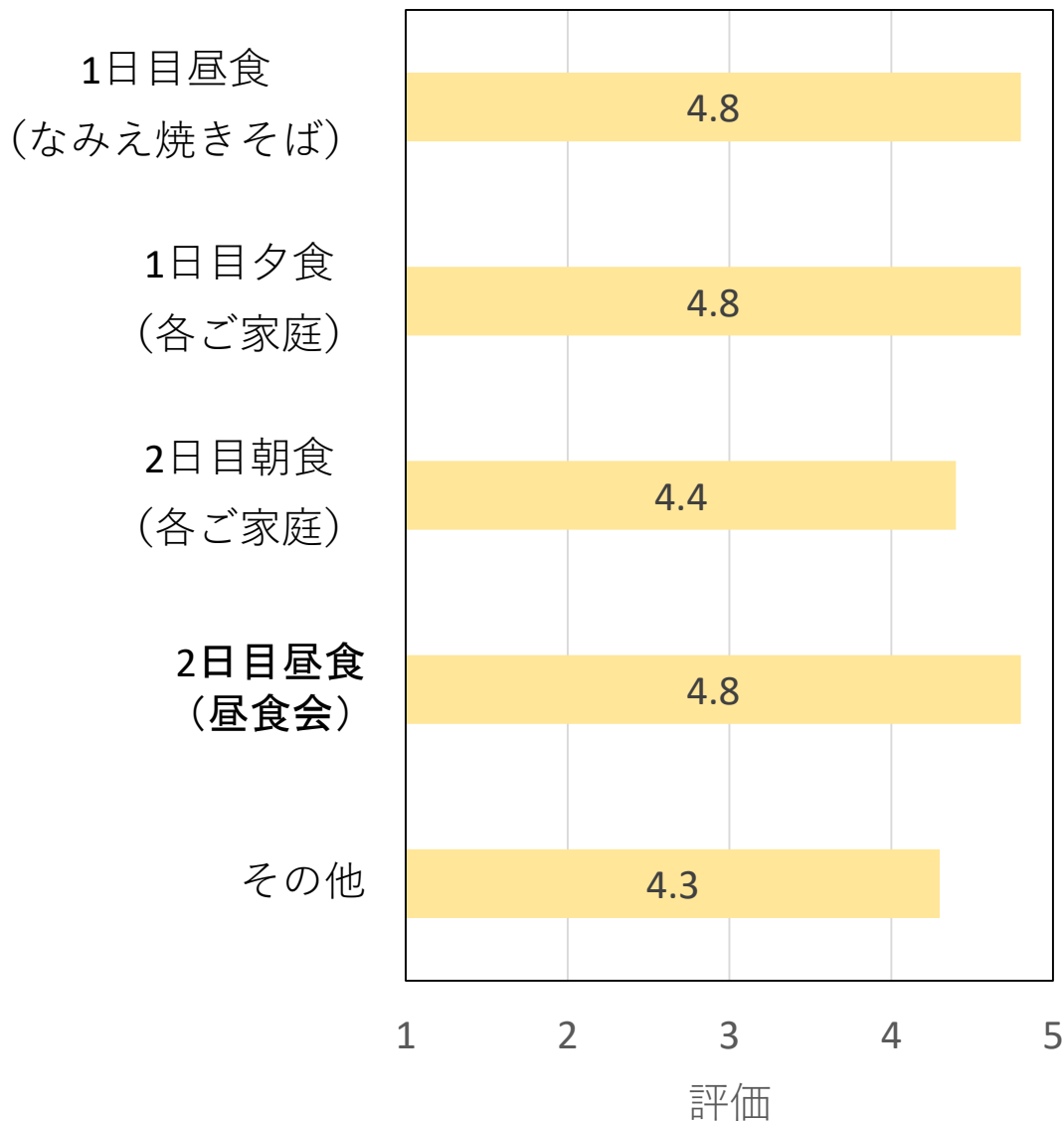
- ・ 2日目昼食が少し低かった

○理由 2

- ・ 野菜への満足感は高いが、お肉をもう少し食べたい
- ・ おいしいが、若者は少し飽きてしまうと感じた

5.1 活動とその評価（食事）

○食事の評価【冬】



○特徴 1

- ・ 全体的に満足度が高い

○理由 1

- ・ 秋と同様

○特徴 2

- ・ 2日目昼食が高くなった

○理由 2

- ・ 自分でついたお餅を
食べれて良かった



5.2 活動とその評価（宿泊）

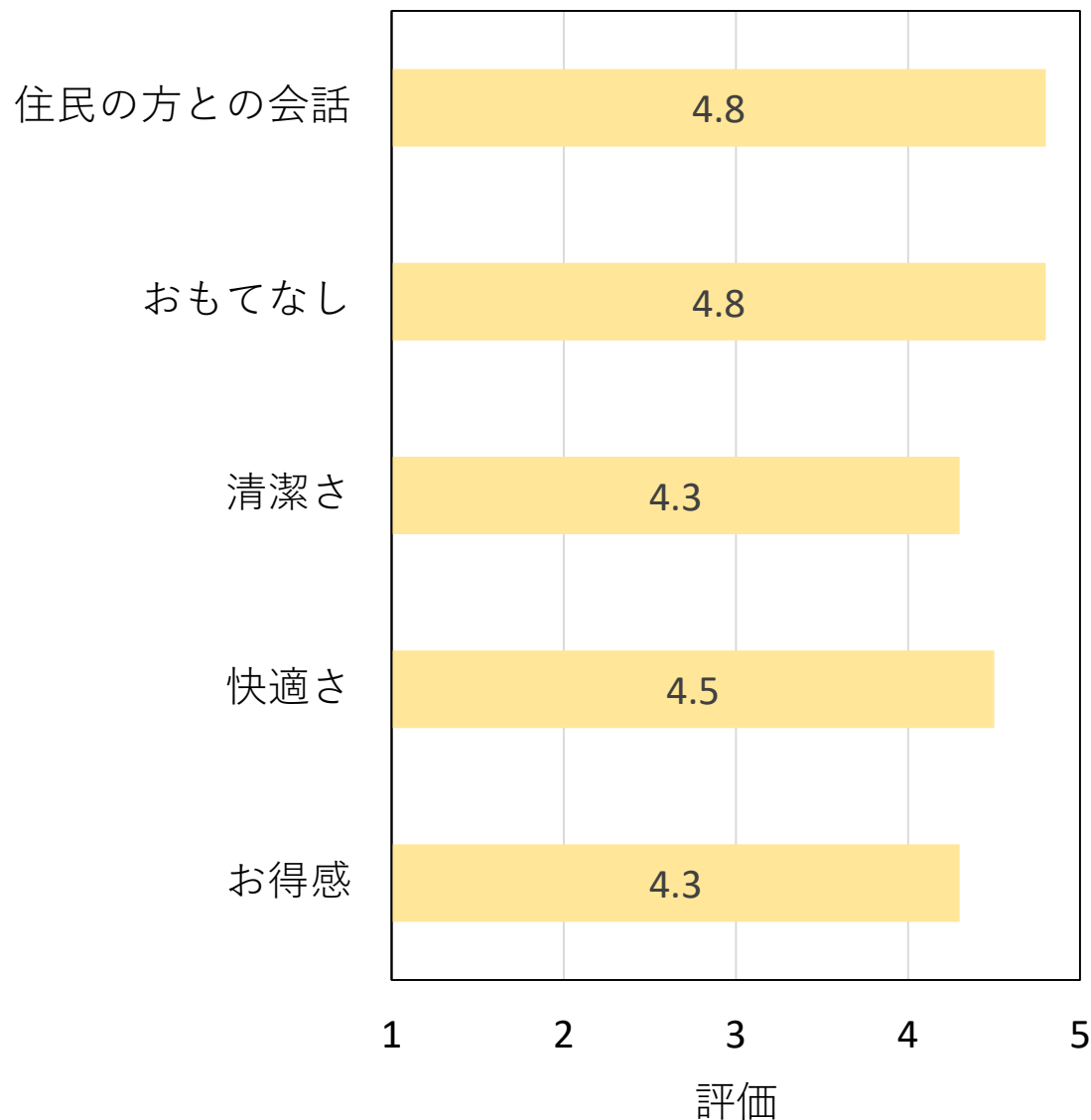
○宿泊の評価項目

- ・住民の方との会話
- ・おもてなし
- ・清潔さ
- ・快適さ
- ・お得感



5.2 活動とその評価（宿泊）

○宿泊の評価【秋】



○特徴 1

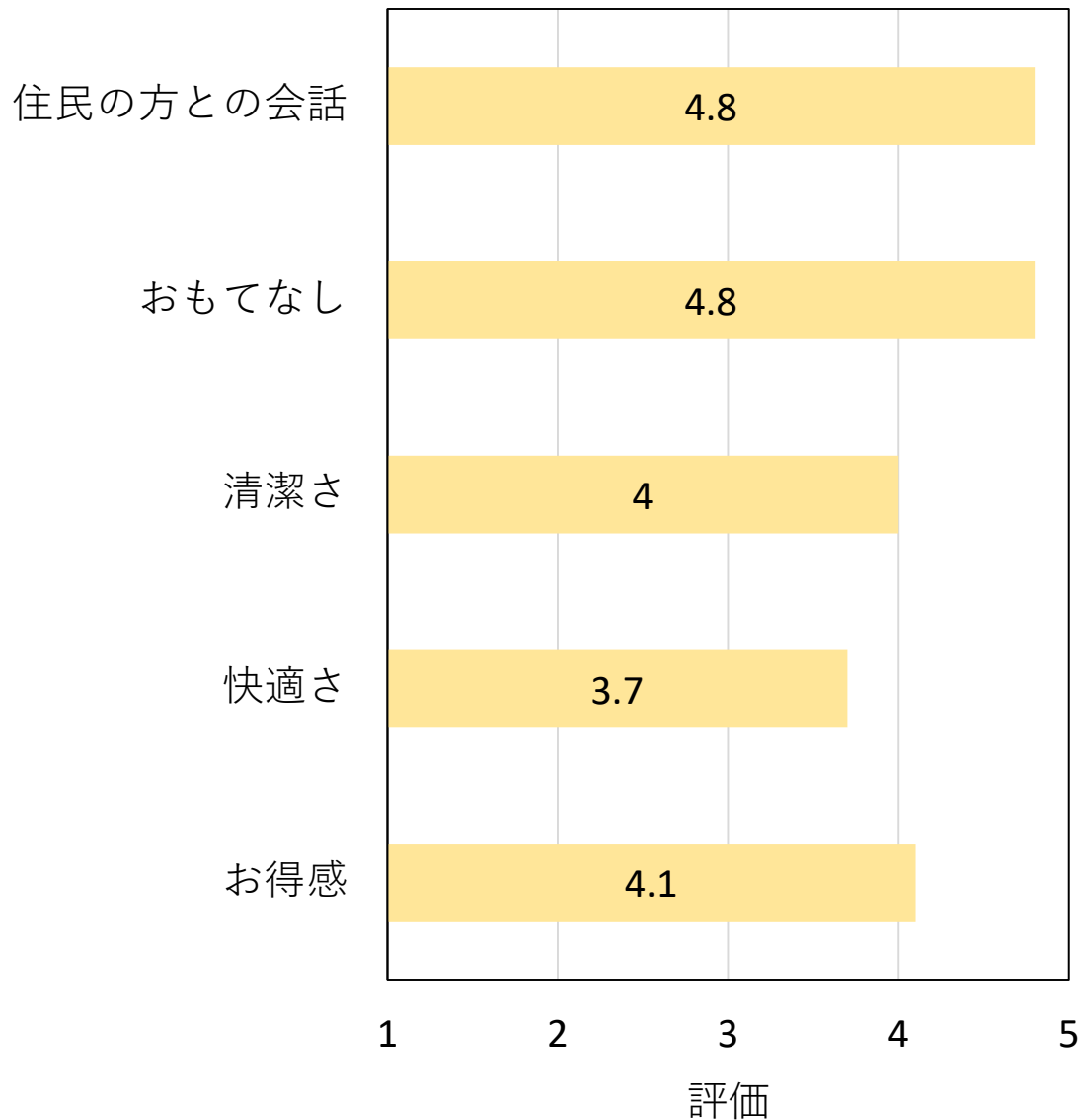
- ・ 全体的に満足度が高い

○理由 1

- ・ とてもあたたかく迎えてくださった
- ・ 貴重な話を聞いた
- ・ ホテルのような高級感が好きという人でなければ、快適だと思う

5.2 活動とその評価（宿泊）

○宿泊の評価【秋】



○特徴

- ・快適さが特に低い

○理由

- ・冬なので仕方ないが、寒かった

5.3 活動とその評価（体験）

○体験【秋】

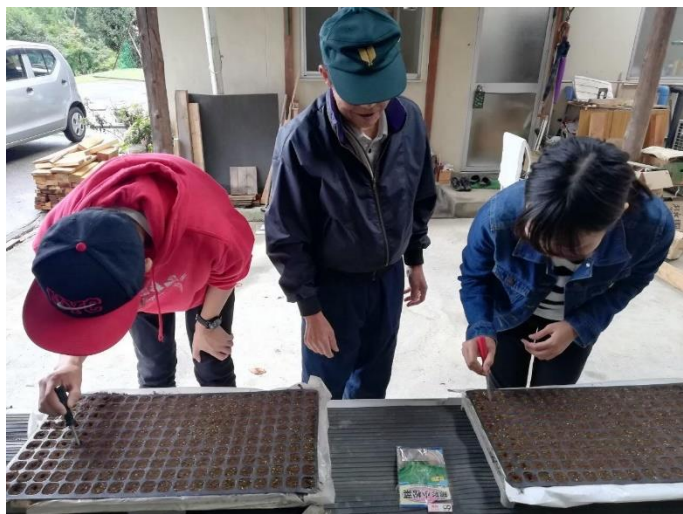
・うどん打ち



・豆腐づくり



・野菜の種植え

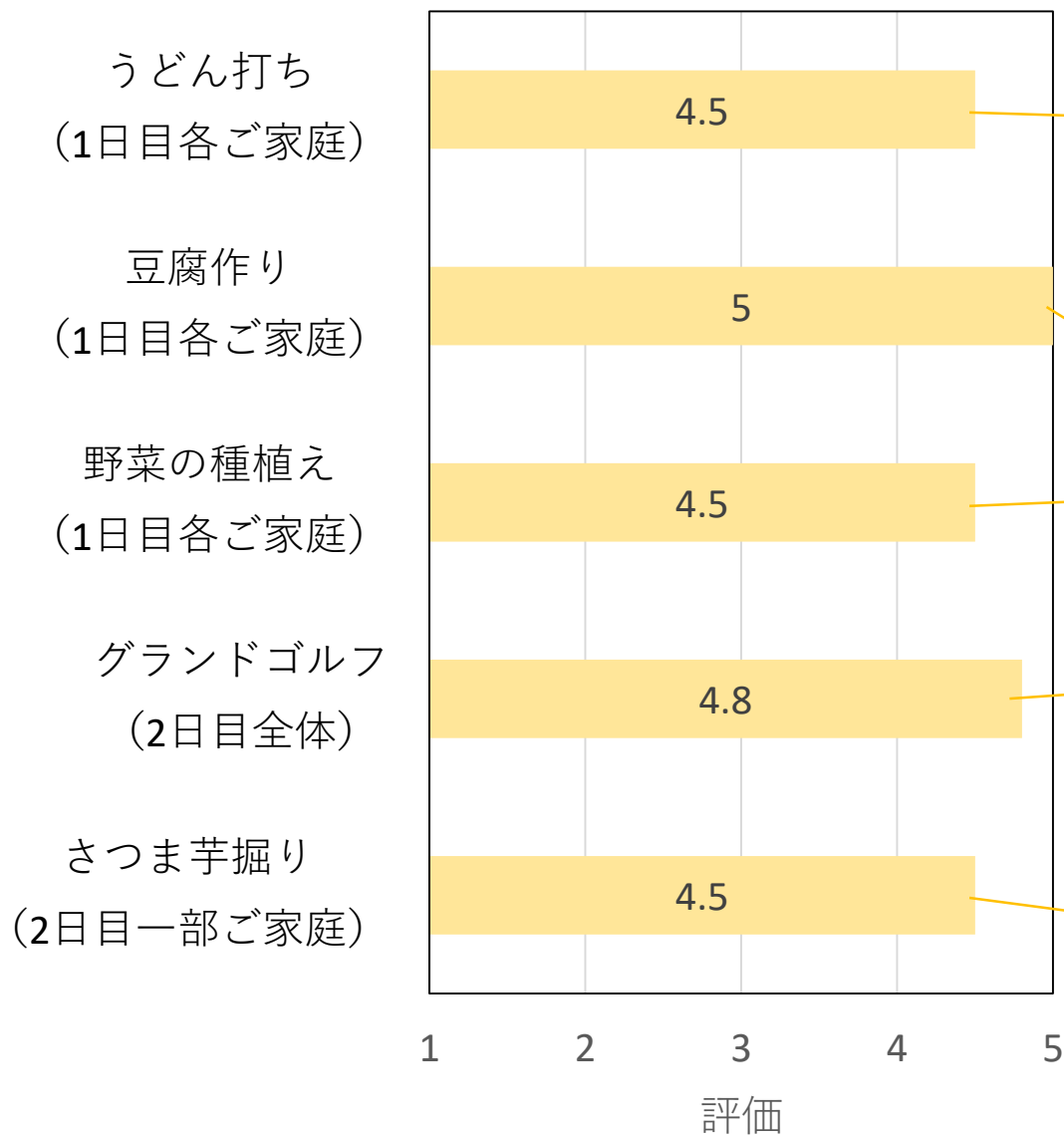


・グラウンドゴルフ



5.3 活動とその評価（体験）

○体験の評価【秋】



○理由

- ・初めて打ちたてのうどんを食べた
- ・玄関での体験に少し抵抗を感じた

- ・初めて、枝豆から豆腐が作られるところを見た

- ・雨でなければ畑でできたので少し残念

- ・水舟の方からコツを教えてください、交流が深まった

- ・朝早くから、自然に触れることができ気持ちよかった

5.3 活動とその評価（体験）

○体験【冬】

・ 幡祭り準備



・ 幡祭り準備



・ 幡祭り

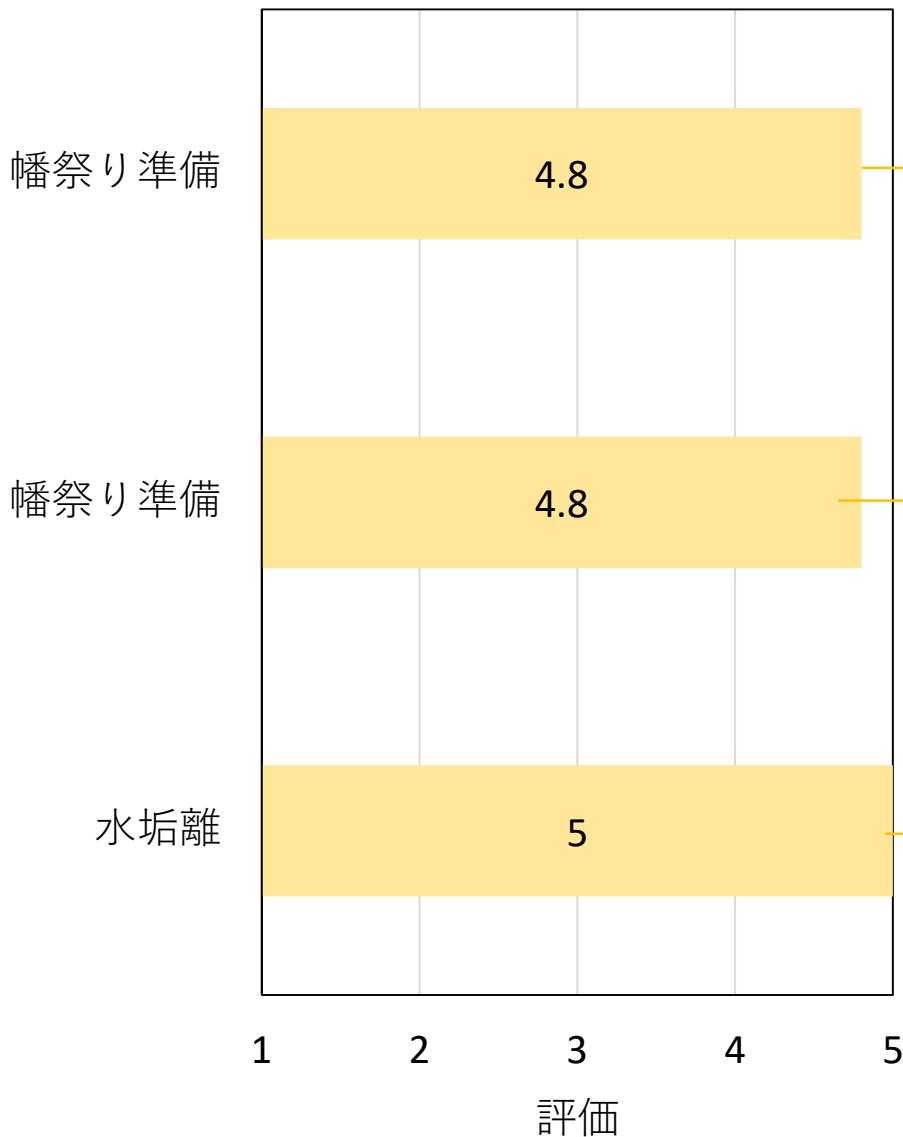


・ 水垢離



5.3 活動とその評価（体験）

○体験の評価【冬】



○理由

- ・フレンドリーな方が多く、丁寧に教えていただいた
- ・集落全体が協力している雰囲気が良い

- ・歴史ある雰囲気、都会ではできない体験

- ・人生で何回も体験できることではなく、貴重だった。

5.4 自由記述（水舟集落らしい、水舟集落ならではの感じたこと）

○記述内容【秋】

- ・ 美味しい野菜
- ・ 住民の方の手厚いおもてなし
- ・ 自然、田畑が多い
- ・ 住民同士で話し合いができる

○記述内容【冬】

- ・ 古くからその地域に伝わる文化を感じられる
- ・ 住民のコミュニケーション能力



5.5 自由記述（今回、初めてだったこと）

○内容【秋】

- ・昔ながらの日本家屋に入ること
- ・ほりこたつ、囲炉裏
- ・家の周りが静かであること
- ・うどん打ち
- ・野菜の種まき
- ・豆腐作り
- ・枝豆収穫
- ・すべて自分の畑で採れた野菜でつくられた料理



○内容【冬】

- ・その土地に根付いた祭りへの参加（幡祭り、水垢離）



5.6 自由記述（魅力、特に感動したこと）

○内容【秋】

- ・ 非日常さ
- ・ 山の景色
- ・ 野菜の新鮮さ
- ・ 人と人との関わり合い
（集落全体で子供をかわいがる、
スポーツをする、地域の未来を考える）
- ・ 民泊時の人のあたたかさ
- ・ 住民が各ご家庭の特産を知っている点
- ・ 帰りたいたいと思わせるあたたかさ、懐かしさ
- ・ 経験のある方からのお話



○内容【冬】

- ・ 郷土料理
- ・ 都会ではや普段のアパートでは
できないことを体験できたこと
- ・ 集落全体で祭りにかかわろうとしてること
- ・ 綺麗な星空



5.7 自由記述（課題・改善点）

○内容【秋】

- ・街灯の設置
- ・アクティビティの充実
 - 数日滞在すると飽きが来る可能性がある
- ・駅から車の送迎などがあれば、また来たい
- ・おもてなしの大小
 - 気を使われすぎると、逆に負担になる場合もある
- ・料理を手伝ったりできても良いと思う

○内容【冬】

- ・朝に散歩など周辺を案内してくれる、星空を見に行ったりするような機会があったら嬉しかった
- ・屋内、寝室の寒さ、虫等
 - 自然に慣れていない都会の人は、民泊に良い印象を持てなくなる可能性がある

6 まとめ

○評価シートから明らかになったこと

- ・様々な魅力と改善点があがった。

→初めてのことで、その土地でしか体験できないこと、普段食べられないものは都市部の視点には魅力的に映ったが、何日間か過ごすと、慣れ、飽きが出てきてしまう可能性が懸念された。

→天気が良いときは、山や星空が綺麗といった魅力が発揮されたが、天気が悪くと、星空が見えない、農業体験等の外での体験が制限されるなど、魅力が少なくなってしまう。

○今後の展望

- ・都市部の人の目に魅力的に映ったものを踏まえて、もっとアピールしていくべき部分など、広報の仕方を再検討していく。
- ・都市部の人への非日常を提供することを主軸に、魅力の種類を増やしていく。
- ・改善点は、以下のように分けて優先順位をつけて改善していく。
 - ①個人で改善できること
 - ②集落が協力しないと改善できないこと
 - ③すぐ改善できること
 - ④すぐ改善できないこと（手続きや仕組み、金銭面上）

ご清聴、ありがとうございました。

